

整理番号：1－4

提言題名：取手市の教育、保育行政について

【提言の要旨】

私は取手市に引っ越して来て30年になります。東京から自然いっぱいの取手に来て、川があり病院も近くにあり、保育所も小学校、中学校も近くにある現在の所で3人の子どもを妻と一緒に共働きで育ててきました。ところが、10年位前からは、小学校や中学校が統廃合や閉鎖などで子どもたちが遠くて危険な道路を通ったり、学校を私立の学校に売却したり、企業に安く売ったりと、どうして公的な物を大事にしないのか。12園あった保育所が6園になったり今回も戸頭北保育所が古くなったため、閉園すると。なぜですか。理由を聞かせてください。また、12月議会で決定するとのことですが、廃止反対の議員が多ければ市長は園の保護者に説明謝罪しますか。

(令和2年11月受付)

【回答の要旨】

取手市では、質の高い教育・保育及び子ども・子育て支援事業を計画的に実施するための「取手市子ども・子育て支援事業計画」、また、充実した保育が提供できるように「取手市保育所整備計画」を策定しております。

戸頭北保育所廃止については、計画に基づき4つの中学校区域ごとに公立保育所1か所配置の考え方を基本としており、戸頭北保育所は昭和50年に建築された旧耐震基準の建築物でもあり45年が経過していることから、老朽化が著しく毎年のように改修を重ねており、設備の劣化が進んでおります。

一方でこの戸頭エリアは、近年多くの民間保育園の認可により保育の受け入れ数が拡充しております。民間保育施設は、子どもの視点に立って、柔軟に保育サービスに取り組んでおり、それぞれの事業者の特色を活かした保育を実践しております。公立保育所の役割を踏まえつつ、民間の活力も活かし、施設の連携を図りながら子育て支援の充実に取り組んでいるところです。

今後とも、保育行政のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(子育て支援課 令和2年11月回答)